住宅用火災警報器の維持管理

住宅用火災警報器は維持管理が大切です。万一の火災時に住宅用火災警報器が正常に作動しなければ意味がありません。日頃の手入れ、点検を行いましょう。

日頃の手入れはどうすればいいの？

住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。

定期的にお掃除を行いましょう。掃除の方法は機種によって違いますので、取扱説明書をご確認ください。

点検方法は？

「電池切れ」に注意！定期的に作動確認をしましょう。

点検の方法は、本体のひもを引くものやボタンを押して点検するものなどがあります。取扱説明書をご確認ください。

交換時期は？

電池の寿命がくると音声で知らせるか、「ピッピッ・・・」と短い音が鳴りますので、新しい電池に交換してください。

本体はセンサー等の寿命により交換が必要です。10 年を目安に交換してください。

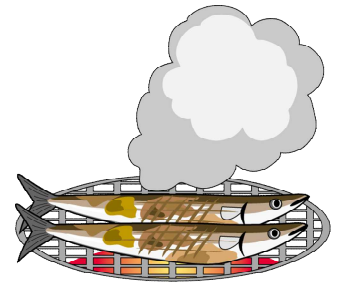
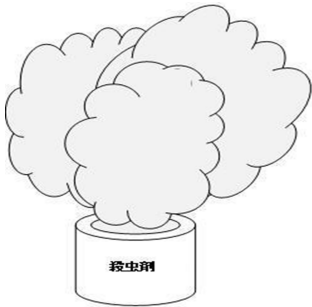
警報が鳴ったときの対処法

火災の時　（鳴動音「ピーピーピー火事です」など）

警報音が鳴り、火災を発見したら次の対処をしましょう。
・周りに火災が発生したことを大声で知らせ、119番通報をしてください。
・可能であれば初期消火をしてください。
・消火が難しいときは、すぐに避難してください。

火災でない時　（鳴動音「ピーピーピー火事です」など）

警報音が鳴り、火事でないことが確認できたら次の対処をしましょう。
・警報停止ボタンを押すか、室内の換気をすると警報音は止まります。
・警報音の誤作動は以下のことが原因の可能性があります。

・燻煙式殺虫剤　　・ホコリや小さな虫　　・調理時の大量の湯気や煙

☆燻煙殺虫剤を使用するとき

燻煙殺虫剤を使用するときは、あらかじめ本体または電池を取り外すか、ビニール袋などで覆うようにしてください。また玄関に張り紙をすることで近所の方や通行人に燻煙殺虫剤を使用していることが周知できます。
終わったら元の状態に戻すことを忘れないようにしてください。

お問い合わせは町消防本部予防課まで　　075-631-1515